

# ？の相談室

～お気軽にご相談ください～

秘密  
厳守

## 消費生活相談

▶月曜日 日生住民センター  
※ 28日は役場消費生活相談コーナー  
▶水・金曜日 役場消費生活相談コーナー いずれも 10:00～12:00、13:00～16:00

☎ 766 - 1110  
消費生活相談コーナー

## 法律相談

▶14日(月) 13:30～16:30 日生住民センター (電話受付 1日 8:45～、先着 6人)  
◇相続・離婚など民事トラブルについて、弁護士による相談 (1人 30分間)

## 行政相談

▶14日(月) 13:30～16:00 日生住民センター  
◇普段の生活で困っていることや、行政への意見・要望などに対してのアドバイスや相談窓口の紹介など

☎ 766 - 8707  
企画政策課広報戦略室

## 農業者年金相談

▶7日(月) 10:00～12:00 役場相談室  
◇農業者年金の加入・受給に関すること

## 農地流動化相談

▶14日(月)、21日(月) 10:00～12:00 役場相談室  
◇農業経営規模拡大や農地の貸し借りなど

☎ 766 - 8709  
農業環境課

## ①母子父子相談

▶相談 (完全予約制)  
役場相談室または宝塚健康福祉事務所※電話相談可 (月～金 9:00～17:00)  
◇県母子父子自立支援員による相談

## ②ひとり親家庭等特別相談

▶12月3日(土) 9:00～17:00 ゆうあいセンター (電話受付 14日まで)  
◇弁護士による裁判を前提とした法律相談 (オンライン)

①・②いずれも 阪神北泉民局 (☎ 0797 - 61 - 5176)

## 児童・DV相談

▶電話・来庁 月～金 9:00～17:00 役場相談室  
◇家庭児童相談員による 18歳未満の子どもや配偶者などからの暴力などに関する相談

☎ 767 - 7477  
こども課

## 障がい者・児相談

▶常時 8:45～17:30 ゆうあいセンター  
◇障がい者・児の生活と就労に関する相談・支援

☎ 766 - 5444  
障害者相談支援センター

## 教育相談

▶来所相談 (要予約) 火～金 9:00～17:00  
▶電話相談 月～金 9:00～17:00  
◇学校・日常生活や学業・進路・心身の悩みなど

☎ 765 - 2065  
教育支援センター

## 外国人生活相談 (がいこくじんせいかつそうだん)

▶月曜日～金曜日 8:45～17:30  
※事前にメールで連絡してください (✉ kokusai@town.inagawa.lg.jp)  
◇日本語を母語としない人のための相談窓口 (翻訳機を使います)  
☎ 766 - 8783 地域交流課

## 心配ごと相談

▶15日(火) 日生住民センター  
▶22日(火) ふらっと六瀬  
▶29日(火) ゆうあいセンター  
いずれも 10:00～12:00  
◇民生委員による生活全般の困りごと相談

☎ 764 - 5814  
民生委員・児童委員協議会

## 障がい者相談

▶24日(木) 13:30～15:30 ゆうあいセンター  
◇当事者団体の相談員による身体・知的・精神障がい者の相談

☎ 766 - 8701  
福祉課

## 人権相談

▶9日(水) 13:00～16:00 役場 2階第1会議室  
◇日常生活でのいやがらせ、いじめ、虐待、DV、不当な差別など (法務省人権擁護委員による相談)

## にじいろ相談いながわ

▶電話相談 9日(水) 9:00～12:00 (☎ 080 - 3434 - 8107)  
◇性的マイノリティの悩み、パートナーシップ宣誓制度など

☎ 768 - 0217  
人権推進室

## 高齢者福祉相談

▶平日 8:45～17:30 ゆうあいセンター (訪問相談可)  
◇介護・高齢者福祉に関する相談

## 成年後見相談

▶18日(金) 10:00～12:00 (14日までに申し込み)  
◇成年後見制度に関する相談 (1人 60分間)

☎ 764 - 5812  
地域包括支援センター

ときめき

瞬

「今」「この瞬間」輝いている  
★あなたを応援します★

### 継続することの大切さ

僕が空手と出会ったのは3歳の頃。空手をやっていた兄の姿に憧れ、もともと住んでいた愛知県の道場に入りました。始めは、上達するにつれて帯の色が変わっていくことが楽しくて、「いつか黒帯をとりたい」と思い、日々練習に取り組んでいました。

中学3年生の頃、父の転勤で猪名川町に引っ越すことになり、目標にしていた黒帯もとれたので、もう空手はやめようと思っていました。そんな時に、父から「川西市に元世界チャンピオンの先生がいるから体験に行ってみよう」と半強制的に道場に連れられ、清和源武館の久下敦司先生との出会いが僕の空手人生を大きく

変えました。

空手は大きく分けると「組手競技」と「型競技」の2種類に分かれます。僕は、突きや蹴り、受けなどを自由に使って相手と組手競技をしています。初めて先生が空手をする姿を見た時、「こんな組手も存在するのか」と驚き、自分の中で世界が広がりました。そんなすごい方に稽古をつけてもらい、知らなかった技や戦い方ができるようになっていくことが、空手をする楽しみになっていきました。

進路を考えていた頃、先生からの推薦もあり、空手の強豪・浪速高校に行くことになりました。その時は、先生に認めてもらえた気がして、自信にもつながり嬉しかったです。

高校では、全国から強者が集まり、入部してすぐにレベルの違いを味わいましたが、他の部員に負けたくないという思いで練習に打ち込みました。しかし、平日は授業以外の時間を使得って朝から夜まで練習、オフの日もなかったもので、正直、辛い思い出ばかりです。結局、3年間でレギュラーになることはで

きず、努力しても必ず結果が出るとは限らない現実を経験し、心が折れそうになった時もありました。それでも、周りの人たちにも支えられ、最後までやり遂げることができました。

大学生になってからは、試合に出場する機会も増えました。空手には100以上の流派があるといわれており、今年の6月には、その中の4大流派の1つ「糸東流」の全国大会に出場しました。個人戦では3位、団体戦では自分自身も勝ち星を挙げ、優勝することができました。団体戦は仲間と一緒に勝ちを目指すので、個人戦以上にプレッシャーを感じますが、勝った時の喜びも大きく、やりがいがあります。

12月には、東京の武道館で行われる「全日本空手道選手権」に兵庫県代表として出場します。特に団体戦では、チーム一丸となつて戦い、全国ベスト8を目指して頑張ります。

これまで、辛いこともたくさんありましたが、どんな時も自分の気持ちをしっかりと持ち、空手と向き合ってきたことは、今の自分を支える力になっていると感じます。今となつては「空手を続けてきてよかった」と、心からそう思います。

おのみず あつや  
大水 春弥さん  
(18歳・つつじが丘)大阪商業大学 1年生  
(空手道部)

ました。全国から強者が集まり、入部してすぐにレベルの違いを味わいましたが、他の部員に負けたくないという思いで練習に打ち込みました。しかし、平日は授業以外の時間を使得って朝から夜まで練習、オフの日もなかったもので、正直、辛い思い出ばかりです。結局、3年間でレギュラーになることはで

「瞬」の掲載希望者・団体を随時募集中です。

※詳細は町ホームページ募集情報より

▶申込・問合せ 企画政策課広報戦略室 (☎ 766 - 8707)

